



いつ、何が起ころうとも大切な情報は守られています。日本の企業文化に適した使いやすさを追求したのがデスクネッツクラウドなんです。67社のdesknet'sユーザーを訪問 インタビュアー 益子直美



各事業会社の専門性を尊重しながら、グループ企業として情報統括と連携を強化したい。その難問にデスクネッツクラウドが応えてくれました。広友ホールディングス株式会社 取締役・経営企画部長 梅木健行

デスクネッツクラウドで、グループ9社の企業力をひとつに。

新発想で持続可能なビジネスモデルを

益子 新規事業では環境問題を意識した取り組みが数多く見られます。
梅木 2008年よりカーボンオフセット付きレンタルサービスをはじめ、昨年から複写機のカウントを利用した同様のサービスを展開しています。利用カウントに応じてトキの生息域保護に役立てられる新たな取り組みです。さらに、イベント会場や工事現場のユニットハウスの電気をソーラー発電でまかなう太陽光パネルのレンタルも行っていて、震災後には、問い合わせや取材の申し込みが急増しました。レンタルを主軸とした私たちの事業は、環境

負荷を減らすための新たなビジネス・モデルと非常にマッチしやすいと考えています。それらを推進するには企業としての社会性も重要で、被災地ボランティア・センターの要請に応じてボランティア・チームを現地に3回(延べ140人)派遣したり、国連が提唱するグローバル・コンパクトへの参加などの社会貢献活動、東京マラソン、Jリーグ「大分トリニータ」、アルペンスキーヤー皆川賢太郎選手へのスポンサードなど文化・スポーツ支援も継続的にやりたいと思います。業務上の迅速な情報共有はもちろん、コンプライアンスの遵守や、社員のモチベーションの共有に、今後もデスクネッツクラウドを活用してゆくとともにです。

グループ企業化で、新たな経営戦略を推進

益子 経営統合によって、事業も大きく変革されたとうかがいました。

梅木 創立から半世紀、レンタル事業を中心に拡大してきた当社は、オフィス家具・備品、OA機器レンタルを手がける広友リース(株)、販売を手がける広友物産(株)を主軸に、複数の事業会社を擁する組織に成長しました。

各事業会社が培ってきた専門領域をさらに極め、事業価値を高めるとともに、相互に補完しながらより高度化・細分化されてゆくニーズに即応することを目的に、2009年4月、各社の経営資源を統合して、持ち株会社の「広友ホールディングス株式会社」を設立し、新たなスタートを切りました。

「個別事業の競争力」「企業間シナジー」そして「グループ本社としての機能」を強化することで、企業価値向上やグループ全体の経営理念

の着実な実践をめざしています。新体制になって2年。マンションのモデルルーム、販売センターの設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート事業の2社も新たに加わり、事業領域は着実に広がっています。

経営統合と同時にデスクネッツをクラウドへ

益子 グループウェアの運用もさらに進化したそうですね。

梅木 グループウェアをとりまく環境も、各事業会社の将来的な発展を見込んで、管理をより厳密なものにしてきた。そこで、さらなる高機能化をめざし、デスクネッツクラウドを採用したのです。自社サーバーによる運用のほうが表面的なコストは低いのですが、管理運用での労力や700ユーザーの情報管理、セキュリティや運用上の保障などを考慮に入れるとクラウドに大きなコストメリットがあると

評価でき、ライセンスはそのまま継続しながらネオジャパンにすべてを預けることにしました。正式決定からグループ全体の本格稼働まで1ヶ月半。速く移行できたこと評価しています。

3・11による被災と迅速な情報復旧

益子 そして導入してわずか数ヶ月後に……
梅木 あの3月11日がやってきました。東北エリアの中枢を担う、仙台市沿岸部の物流センターが津波で甚大な被害をこうむりました。しかし、社員と家族は全員無事だったと連絡を受けたときは、むしろ安堵したぐらいです。物理的な被害は、その後の努力で復旧できますから。

物流センターではパソコンもすべて流されてしまいました。ノートパソコンと通信カードを現地に送り、迅速に情報環境を整えられました。デスクネッツの強みを実感できた瞬間です。状況は非常に逼迫(ひっぱく)していたので、「電子会議室」で緊急支援物資をリスト化して全国の事業会社で共有し、いち早く提供できる事業所が名乗りを上げて物資供給体制を整えました。

益子 震災後、クラウドコンピューティングを再評価する声もあがりました。

梅木 今回の事態を予測してクラウド化を進めたわけではありませんでしたが、自然災害の多い日本には、独自の評価や価値が根付いてゆくのかもしれませんね。



●取材にご協力いただいた広友ホールディングス株式会社スタッフのみなさん

KOYOU 広友ホールディングス株式会社

所在地 ● 東京都港区
設立 ● 1957年
従業員数 ● 607名(グループ全社)
事業内容 ● オフィス什器備品の販売と総合レンタルを主軸とする事業を展開。主力事業を担う広友物産、広友リースをはじめ、広友サービス、広友ロジックス、広友イノテックス、リスタ、ミラノ、ワーク・ステーション、広友租賃(上海)、の9事業会社を擁する企業グループとして2009年4月経営統合。経営の原点「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の精神と、各事業会社の高い専門性やノウハウを連携・結集した「総合力」で、高品位なサービスを追求している。

デスクネッツ
「デスクネッツ」と検索してください。
製品サイト (<http://www.desknets.com/>) では各種導入事例や最新の情報を取得できます。



日経コンピュータ2011年 第13回パートナー満足度調査 グループウェア/EIP部門1位



日経コンピュータ2011年 第16回顧客満足度調査 グループウェアソフト部門1位



日経ガバメントテクノロジー2011年 第2回自治体ITシステム満足度調査 グループウェアソフト部門1位

製品をお試しできます。
お試しはサイト上もしくはダウンロードして行えます。



株式会社ネオジャパン
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー10F